2024-25 年度
国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

Weekly Report Niigata

ロータリーのマジック

2024～25 年度
新潟ロータリークラブ会長
吉田　和弘

新潟 RC　2月第　3 例会（20252.25）　№3544

(1)　ロータリーソング「我等の生業」斉唱

(2)　会長の時間（吉田和弘会長）

ハバロフスクの思い出

２月は逃げて走る、といいますが、あっという間の月末です。2 月 11 日の建国記念の日が火曜日だったこと、翌週の 18 日は市内 7RC の合同例会への振り替えだったこともあり、２月は 2 回しか通常の例会を開催することができませんでした。20 日に行われた合同例会は、失礼は重々承知していたのですが、どうしてもその日のうちに東京へ移動せねばならない用事があり、中座してしまいました。来年の合同例会は新潟クラブが担当です。本来なら締めに次年度開催クラブの会長として挨拶しなければならなかったのですが、やむを得ず佐藤会長エレクトに代理をお願いして、ご挨拶いただきました。佐藤会長エレクト、大変ありがとうございました。

２月１５日から２月の１８日まで、研修旅行として学生を連れて韓国に行ってきました。ソウルを訪問する 3 泊 4 日の小旅行でしたが、参加を希望した 10 人の学生とともに、非常に楽しい日程を過ごすことができました。実は当初、13 人の申し込みがあったのですが、イム大統領を巡る騒動が日本で報道された直後に、親御さんが心配をして 3 人のキャンセルが出てしまいました。今回お世話になった JTB 新潟支店の馬場支店長はじめ担当者の方と連絡を取っていましたので、特に危険はないとわかっていたのですが、それでも到着初日の 2 月 15 日の土曜日の夜、ソウルの官庁街で大規模なデモを目撃しました。ガイドさんに聞いたところ、イム大統領を罷免すべきだという意見のグループと、罷免に反対するグループがいるそうで、大音量の音楽をかけて、自分たちの意見を歌にのせて絶叫しながら主張しあうという、とてもパワーを感じるデモでした。ただ、デモができる日時、場所などは決まっているそうで、騒然とした雰囲気はありませんでした。

いずれにしても観光地として大人気の韓国ですが、外交、軍事的に常に緊張感を強いられる状況にあります。また世界に目を向ければウクライナ、パレスチナの例を挙げるまでもなく、いたるところで紛争、戦争が起き、多くの人たちが命を奪われる悲劇が繰り返されています。

今月のロータリーテーマは「平和構築と紛争予防」です。この難しいテーマに対して私ができることは何か。わずかなことでも貢献できるとすれば、相互理解のきっかけを作ることではないかと考えています。

今回の旅行でも、昨年から交流がはじまった、テジョン市にあるウソン情報大学から新潟に来てくれた学生さんが駆けつけてくださり、仲良くなった学生同士で再会を喜びながら、一緒に観光をし、食事をして、とても楽しそうに交流を深めていました。ここに日本と韓国の政治的な緊張感など、微塵もありません。直接会う、親睦を深めることで存在を認め合うこと。これなくして、お互いの主義主張を理解することはできないと思います。

今、アメリカのトランプ大統領によって、政治的な思惑だけでロシアとウクライナの戦争を強引に終わらせようとする動きがあります。それに同調するロシアのプーチン大統領も、ある視点からは利己主義の固まりのような人物に見えてしまいます。それによってロシア、ロシア人は何を考えているかわからない、というイメージが増幅されているかもしれません。

米ソの冷戦時代に作られたアメリカ映画は、ソ連を極悪非道の敵国として描いていました。それを見て育った私にしても、ソ連、ロシアには冷酷なイメージしかありませんでした。しかし、2012 年に始まったハバロフスクの学校との交流によって、それまでの印象は一変しました。

日本料理店で働いていた本校の卒業生が、あるご縁がきっかけで日本の領事の料理人として雇用されました。料理人は領事の赴任先に随行するのですが、ハバロフスクでもご一緒したそうです。領事が主催する行事でゲストに料理を振舞ったところ、地元の大学の学長がその味に感激し、「君は日本のどこの学校で学んだのか？」と卒業生に尋ね、新潟調理師専門学校だと伝えると、その数か月後には訪問団を編成して、本校に視察にいらっしゃいました。

私たちもその熱意に感激して、精一杯のおもてなしをしたところ、次はロシアに来てもらいたいとご招待を受け、2 か月後には現地のハバロフスク州立の「ハバロフスク商業経済専門学校（大学）」という学校に赴きました。

学長のコルサコフ氏は、新潟で受けた歓待のお礼がしたいと、非常に温かいもてなしをしてくれました。ここで会う

人すべてが暖かく親切で、人懐っこくて、笑顔の絶えない人たちでした。
その後も両校の交流は続き、隔年で相互訪問をする事業を実施していました。この交流に参加した人は、例外なく「ロシアのイメージが変わった」「ロシア人がこれほど親切だとは思わなかった」と言うようになりました。この一人一人の小さな出会いがお互いの理解につながり、理解が敬愛になり、もっと親睦を深めることで輪が広がり、やがて世界の平和につながるのではないでしょうか。
残念ながらコロナによって交流が中断し、ウクライナ問題で行き来が難しい状況になってしまいました。
それでもコルサコフ校長は私にとって世界で一番仲のいい外国人です。そのコルサコフさんが「ハバロフスクで一番おいしいレストランはここだ！」と何度も連れていってくれたのが、ウクライナ料理店なのでした。難しい問題を一日も早くクリアして、世界中が平和になることを祈らずにはいられません。

◎今週のお店紹介　ＴＥＴＴＯ（テット）
新潟市中央区西堀通 3 番町 794-5 1～2F

◎今週のミニスピーチ
小川潤也㈱絆コーポレーション代表取締役社長

(3)　新潟ロータリークラブ細則　第 3 条第 2 節により監査役に本間剛三君を指名、全員の拍手を以て承認

(4)　委員会報告

・江越誠社会奉仕委員長よりロータリー保育園訪問報告（詳細はホームページに掲載致しました。ロータリー保育園のご紹介を右記に記載致しました。）

・栂坂昌春 RA 委員長より RA 地区大会参加報告

(5)　各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(本多　晃委員長)
本間　彊君　　本多　晃君
織戸　潔君

米山奨学会寄付発表(髙橋　秀樹大委員長)
織戸　潔君　　石川　治壱君
五月女政義君

青少年育成基金寄付発表(五月女政義委員長)
本間　彊君

(6)　ニコニコボックス紹介（佐藤　明委員長）
・高橋　智則君　ゴルフ同好会千葉遠征シリーズで優勝させて頂きました。ありがとうございました。次回幹事を拝命致しましたので多くの方々に参加して頂けるプランを企画いたします。宜しくお願い致します。
・高山　克彦君　結婚記念のお花いただき妻もニコニコです。以下、妻からのライン（原文のまま）
「なになに、どうしちゃったの？」{ロータリークラブに入れるって、お偉いさんになったんだねー}

(7)　幹事報告（小林　慶直幹事）
・越後春日山ロータリークラブが４月１２日に３０周年記念式典を開催致します。登録希望の方は３月３日までに新潟ロータリークラブ事務局にご連絡をお願い致します。

(8)　会員スピーチ「日高商事株式会社のご紹介
～ 伝統を未来へ繋ぐ挑戦 ―
１００年企業に向けた取り組み ～」
日高商事㈱取締役社長　高橋　智則君

(9)　２月２５日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
81	79	55	69.62%

Zoom 参加　４名

３月４日　第一例会につき卓話はありませんが８５周年記念式典についてご案内します。

新潟ロータリークラブホームページアドレス
http://www.niigatarc.jp/

ロータリー保育園の紹介

昭和３０年１０月１日、当クラブがホストの第６０地区年次大会を３日後に控えた未明に新潟大火発生。会員６０余名中、罹災会員２０名以上。急遽スポンサークラブの東京クラブを中心に都内各クラブのホストにより１０月１１日、東京帝国ホテルで地区大会を開催。
１０日間の準備期間であったが全国より４１８名が参加して無事終了。
昭和３１年に６０地区大会の経費残(約１２８万円）と全国より寄せられた見舞金(約１２５万円）の中から、新潟市の復興資金＝児童福祉対策の一助として、２００万円を寄付した。
その資金を元に昭和３３年５月、市内２０番目の保育園が設立、ロータリー保育園と命名された。
定員６５名、木造平屋建、遊戯室、乳児室各一部屋。
昭和６２年、老朽化のため鉄筋コンクリートと２階建に改築(定員１３０名。)
クリスマスには会長はじめ社会奉仕委員会のメンバーがサンタ、節分には鬼か　福の神の装束で訪れている。